

## 令和7年度 主な教育活動

### 1. 令和7年度始業式、入学式、後援会入会式

令和7年4月12日（土）午前、しずぎんホール「ユーフォニア」にて挙行。新入学生、新入学生保護者、在校生が一堂に会して入学式を行うことができた。また入学式後には学生保護者の組織である後援会の入会式を実施した。

### 2. 新入学生対象基調講演

令和7年4月9日（水）、電子情報、福祉医療それぞれの新入学生に向けて、各界から講師をお招きし、基調講演をいただいた。専門学校における、専門職を目指す学びの重要性を説き、また本学の教育理念「挨拶を基調とした全人教育」の重要性をお話下さった。新入学生たちは職業のイメージ、これからの学びの目的が明確になり、御殿場宿泊研修でのアクティブラーニングに結び付けることができた。

<電子情報 講師>

専門学校静岡電子情報カレッジ 学校関係者評価委員

株式会社コサウェル及び株式会社システムソフィア 取締役 五十嵐 卓氏

<福祉医療 講師>

静岡福祉医療専門学校 学校関係者評価委員

特別養護老人ホーム「晃の園」園長 川崎 誠之氏

### 3. 新入学生 御殿場宿泊研修

令和7年4月7日（月）～4月11日（金）に行った学内での新入学生オリエンテーションを経て、4月14日（月）～16日（水）、御殿場市にある国立中央青少年交流の家で2泊3日の宿泊研修に臨んだ。体調不良で2名が欠席したが、グループワーク等をオンラインで対応することで、全員揃って全ての日程をこなすことができた。

箱根でのオリエンテーリング、研修所でのアクティブラーニング（職業のイメージを明確にし、よりよい就職を具現化するためのグループワーク）とその成果発表、ビジネスマナー、レクリエーション活動等、寝食を共にしながら濃密なスケジュールで活動でき、友情を深めながら、今後の専門学校における学びの目標・目的を明確にすることができた。

## 4. 学生会主催 スポーツ大会

(1) 春季スポーツ大会 令和7年5月16日(金)

安倍川河川敷 男子、女子ともドッジボール

終了後、河川敷清掃を実施

(2) 秋季スポーツ大会 令和7年11月18日(火)

このはなアリーナ 男子・女子ともバレーボール

終了後、体育館、館内設備、周辺の清掃を実施

学生会の企画・運営によるスポーツ大会を行い、スポーツを通じて学校・学科の枠を越えて交流、友情を深めることができた。

## 5. 卒業生を囲む会

(1) 電子情報 (ITゲーム&ロボットシステム学科、音響&映像メディアクリエイイト学科) :

令和7年5月1日(木)

(2) 視能訓練士学科 : 令和7年5月29日(木)

(3) 子ども心理学科 : 令和7年7月3日(木)

(4) 福祉分野 (介護福祉学科、総合福祉学科) : 令和7年10月2日(木)

進路指導の一環として、最も身近なプロフェッショナルである卒業生を招き、「職業観」の向上及び「就職意識」の高揚を図るために実施。また終了後には教員と卒業生との間でも情報交換を行い、各分野のニーズ、卒業生が今抱える問題点、母校への提言などを得て、カリキュラム、授業、実習・演習、就職指導に今後反映していく。

## 6. 令和7年度 我道祭 (学園祭・文化祭)

文化祭・学園祭 令和8年2月27日(金)、2月28日(土)、3月1日(日)

### 【電子情報 企業対象卒業研究・ゼミナール成果発表会】

○御参加講師 (順不同)

・オフィスアシタノ 代表 (本学 非常勤講師)

木野 正弥 様

・コールプロダクション 代表 (本学 教育課程編成委員)

興津 伸一郎 様

○発表テーマと学生メンバー

(1) 卒業研究

最新の AI API を活用した Web アプリケーション

「ヘア・シミュレーション」の開発

発表者：ITゲーム&ロボットシステム学科2年 木村 健太郎、小林 武尊、長房 蓮

(2) セミナール

IoTとロボットで介護支援を目指す

「アーム型ロボット、ハンド型ロボット」設計・開発

発表者：ITゲーム&ロボットシステム学科2年 神谷 柊羽

(3) セミナール

ゲーム作品のオマージュ動画

「音楽・イラスト・動画 全て自作で再現！！」

発表者：音響&映像メディアクリエイイト学科2年 池田 紗羽、大村 琉月、山本 ゆりこ

(4) 卒業研究

学生主催音楽ライブ

「“Heart Beat”の企画運営」

発表者：音響&映像メディアクリエイイト学科2年

鈴木 煌樹、田光 洋大、池谷 駿佑、宮本 遼介、藤田 拓夢

○講師の方々からのご講評より

(1)

・最新のAI技術を単なる研究で終わらせず、実際の美容院という現場に持ち込み、評価を獲得した行動力と実装力を高く評価する。

・Webサービスとして提供するにあたり、セキュリティ面にも配慮できている。

・クライアントの要望に応える以外にも機能追加・提案できると更によかった。

・技術の「社会実装」という、実社会のビジネスにおいて重要なプロセスを学生のうちに経験できたことは大きな財産である。

(2)

・開発の動機が明確なので、実際にテストできるところまでもっていけるとよかった。

・3Dプリンターでのパーツ造形からDCサーボの制御まで、自らの手で出力・構築した熱意が作品から十分に伝わってくる。

・介護への応用は簡単ではないが、このロボットを使ってどのように課題を解決するのかという、具体策が加わると、さらに説得力のあるプロダクトになるだろう。

(3)

・オリジナルのコンテンツをしっかりと再現できていて、当時の技術が学べた。そこから新しい表現法や見せ方を作品に取り込めると更によかった。

・ドット絵の作成、8bitサウンドの制作、動画編集と、複数のツールを駆使して一つの作品を作り上げる総合的なデジタルスキルを評価する。

・視聴者の感情を動かすコンテンツ制作のスキルは様々な分野で求められるため、このクリエイティビティと表現力を今後の武器にしてほしい。

(4)

・音響、照明、舞台転換といった裏方の技術的なオペレーションを、学生たちだけで最後までやり切った対応力と責任感は素晴らしい。

- ・ステージや音響の技術も大切だが、集客面をもっと考えるとよい勉強になるだろう。
- ・収支の赤字は、良いものを作ることと集客（マーケティング）の両輪が揃って初めて興行が成立するという、実社会と同じ教訓を得られた貴重な学びである。

<総評>

- ・各グループが長期間、高い意識で研究を進めてきたことを高く評価したい。
- ・学内にとどまらず、外部との連携で行われていることは非常に良い経験になっている。
- ・貴重な経験を積めたことに自信をもって、卒業後、各分野での活躍を大いに期待する。
- ・学生の司会者が進行をスムーズにこなせていた点もすばらしい。

## 【福祉医療 症例報告・ケアスタディ・卒業研究発表・CAN スカラシップ活動報告】

### ○発表会御参加講師

- ・社会福祉法人静和会 特別養護老人ホーム 丸子の里・丸子の里わかば  
施設長 八木 和真 様

### ○発表テーマと学生メンバー

#### (1) 介護福祉学科 ケアスタディ発表

理想と現実のギャップ

～家に帰りたいという理想と帰れないという不安に対して～ 介護福祉学科2年 前島 圭吾

#### (2) 総合福祉学科 ケアスタディ発表

認知症利用者様と周囲の関わり ～不安からなる様々な症状～

総合福祉学科2年 中島 理琴

#### (3) 視能訓練士学科 症例報告

剥離をきたす糖尿病網膜症

視能訓練士学科3年 大石 朝陽

#### (4) 子ども心理学科 卒業研究発表

お茶を通して食育を学ぶ

子ども心理学科3年 寺尾 初季、望月 雅穂

#### (5) 総合福祉学科 卒業研究発表①

パラスポーツへの関心はどう生まれるのか ～専門学校生への意識調査と発信実践～

総合福祉学科3年 赤堀 りろ、増田 菜々、菊池 心暖、櫻井 彩乃、小田 啓太

#### (6) 総合福祉学科 卒業研究発表②

動物との共生から考える「自分らしい」生き方

総合福祉学科3年 石川 智恵、齋藤 瑠奈、杉山 敦哉、須山 宏紀、田村 美羽、  
山崎 結愛、湯本 葉、和田 桃佳

#### (7) CAN スカラシップ活動報告（学生12名）

子ども心理学科3年 横山 颯人 視能訓練士学科3年 大石 朝陽／小塩 凜花

視能訓練士学科2年 柴田 乃亜／村田 百合愛

介護福祉学科2年 山本 弥侑 総合福祉学科3年 赤堀 りろ／増田 菜々

○講師 八木様からのご講評

(1) トップバッターとして落ち着いた姿勢と温かな人柄が光る発表であった。「自宅に帰りたい」という願いに向き合った姿勢は高く評価できる。他職種連携の視点や、希望を支え続ける支援の在り方をさらに深めてほしい。

(2) BPSD のある方への支援に粘り強く向き合い、好きなことを入口に関わった視点が印象的であった。否定や注意が不安につながるという気づきは大きな学びである。相手の立場で考える姿勢を今後も大切にしてほしい。

(3) 眼の問題を全身状態や生活背景と結びつけ、多角的に捉えた分かりやすい発表であった。自己理解の重要性に触れた点も意義深い。広い視野を持ち続け、専門性をさらに高めていくことを期待する。

(4) 地域性を活かし、体験や紙芝居、調理の工夫によって子どもの興味を引き出した実践的な発表であった。自ら体験し伝える姿勢は高く評価できる。体験を価値に変える力を今後も磨いてほしい。

(5) 関心が一時的で終わる課題に着目し、視聴から理解・共感へ至る過程を丁寧に整理した点が秀逸であった。SNS という現代的視点も的確である。継続的な関心づくりへの実践をさらに広げてほしい。

(6) 「飼う・飼われる」を超えた共生の視点が福祉の本質を捉えた発表であった。自分らしさを尊重するというまとめも印象的である。支援する・されるを超え、共に生きる姿勢を今後も大切にしてほしい。

(7) 主体的に企画運営へ挑戦し、学業やアルバイトと両立しながらやり遂げた経験は大きな財産である。自ら考え行動する力は社会で必ず活きる。「自分はどうしたいのか」を問い続けてほしい。

## 7. 産学連携教育プログラム・フィールドスタディー

今年度、学校生活・フィールドスタディーにおける活動においてリーダーシップを発揮して成果を挙げ、CAN スカラシップ制度に相応しいと判定を受けた学生 17 名が N-Cap(B) として認定を受けた。

### <令和 7 年度の活動>

学外での活動や産学連携の活動、学科の特色を活かした活動に取り組んだ。昨年度より継続して実施している活動だけでなく、学生自身がつないだ新たな活動も増した。N-Cap 生だけでなく、他の学生を巻き込み一緒に活動を行うことで、フィールドワーク自体が盛り上がるものになっており、学生の成長につながっている。

### <活動内容>

・静岡おまちバル 令和 7 年 5 月 30 日 (金) ~ 6 月 1 日 (日) 静岡市中心市街地 主催：静岡おまちバル実行委員会

静岡市駅周辺の飲食店を盛り上げるための春季の食べ歩きイベントに、おまちバル実行委員として参加。同イベントを開催するにあたっての定例会議への参加、アンケート案内、宣伝活動を

行った。

・静岡市との連携による研修参加 令和7年5月22日(木)

静岡市役所都市局都市計画部景観まちづくり課に映像・音響系学生が訪問させて頂き、静岡市が取り組むJR静岡駅南口再開発のプロモーション活動について、市と協働できるように情報交換を行った。

・ま・あ・る お仕事体験フェスタ 令和7年6月7日(土)

静岡県職業教育振興会主催による標記イベントで、小学生向けに公開講座を実施。「福祉のお仕事」、「システムエンジニア・プログラマーのお仕事」について、学生が主体的に企画・準備・当日の運営を行った。ま・あ・るのスタッフ、参加した子どもたちから大好評を得ることができた。

・IoT企業での研修 2年生対象：令和7年6月20日(金)、1年生対象：12月3日(水)

株式会社システムソフィアにて、IoT設計開発現場で、卒業生社員から手ほどきを受けた。また社内での開発の様子を見学させていただいた。日頃学ぶ技術がどのように具現化されるかを知る絶好の機会となった。

・てけてけ隊・秋の感謝祭 IN 島田市商店街 ブース企画・運営

主催：島田市障がい者福祉連絡会

ブース企画・運営、チラシの作成を学生たちに任せていただいた。総合福祉学科1年生が、「障害理解とインクルーシブ社会の大切さを地域に発信したい」と、体験ブースの企画(スタンプラリー、福祉マークづくり、発達障害疑似体験)とチラシ作成を行った。令和7年9月20日(土)には、企画したブース内容を事前の全体会議でプレゼンテーションした。

10月19日(日)当日は3つのブース運営を学生たちが行わせていただく予定だったが、残念ながら雨天中止となった。

・島田商業高等学校文化祭 音響担当 令和7年10月2日(木)～10月4日(土)

同校からの依頼により、本学音響&映像メディアクリエイト学科1年生2名が文化祭のステージ演奏の音響を担当した。事前の準備、リハーサルから本番まで、成功裡におさめることができた。またステージでは本学のPRもさせていただくことができた。

・第12回介護技術コンテスト in ツインメッセ静岡 令和7年11月15日(土)

介護職員が日頃の業務で身につけた介護技術を発表し、その技術の高さや専門性を競うことで介護技術の向上と県民の介護への理解を深めることを目的として行ったコンテスト。

今年度もN-Cap生2名がコンテストの学生審査員を任せられ、その他の学生は受付/運営担当・物品担当・審査員・利用者役として活動した。介護福祉士会の方からも高評価をいただくことができた。

- ・コラボ企画 子ども心理学科×総合福祉学科 特別講座 令和7年11月17日(月)

テーマ：発達障害児の支援について考える

放課後等デイサービスに勤務していた卒業生を招き、経験をもとに、放課後等デイサービスとはどのような場所か、障害児と関わる上で大切なことはどのようなことか、「療育」についての講演を聞き、その後、両学科が混じったグループでケース研究を行った。

N-Cap生は、講座の企画・講師の先生との連絡調整、司会、運営を担当。学生たちからも、毎年色々なテーマで実施して欲しいとの声があがった。

- ・森下ときめき収穫祭 令和7年11月24日(月・祝)

森下学区自治会連合会、久能街道・森下まちみがき研究会主催による町おこし・地域イベント「森下ときめき収穫祭」に学生が出展させて頂き、ロボット電子工作体験、市からの委嘱で開発したゲーム体験のコーナーを用意して、来場者に楽しんでいただくことができた。また静岡市景観まちづくり課の出展にもボランティア参加させていただいた。

- ・未来発見！お仕事体験フェア in マークイズ静岡 令和7年12月6日(土)

「IT・ロボットエンジニアのお仕事ーミニミニロボットを組み立てよう！ー」、「視能訓練士のお仕事ーいろいろな眼科検査をしてみよう！ー」の2ブースで、小学生を中心に多くの方にお仕事体験をしていただくことができた。

- ・くさなぎ親子フェスタ in 草薙駅北口広場 令和7年12月7日(日)

主催：つながるくさなぎ実行委員会

JR草薙駅北口広場で開催される親子向けの体験型イベントで、子ども心理学科の学生が『親子で楽しめるレクリエーション』をテーマに、ブースの企画・担当・運営を行った。

- ・森下小学校放課後児童クラブ 『子どもの心に残る思い出作り』

電子・福祉コラボ活動 令和7年12月26日(金)

当日は子ども心理学科の学生が演劇を進行し、音響&映像メディアクリエイイト学科の学生がBGMや効果音を担当。子ども達の笑顔がたくさん見られ、学生の喜びにもつながった。

- ・産学官連携 養護老人ホームぎんもくせい 環境整備プロジェクト 令和7年6月～令和8年2月 連携先：一期一会トータルケア株式会社、島田市

一期一会トータルケア株式会社と協働し、整備が遅れていた島田市養護老人ホームの環境改善を学生主体で実施した。福祉系学科の学生や卒業生、専門職が連携し、入所者のQOL向上を目的に、現地調査や要望聴取から家具の選定・設置までを実践した。利用者や施設、市役所からも感謝される大変意義深い活動となった。

・静岡 DWAT 出前講座 令和 8 年 2 月 4 日（水） 【静岡県社会福祉協議会】

災害時の福祉支援という実践的テーマを学び、専門職としての資質を高めると同時に、地域連携・社会的評価を高める取り組みとして企画。事務局である静岡県社会福祉協議会の方にお越しいただき、災害時の活動内容をお話しいただき、また、災害時のグッズの使い方等を教えていただいた。

・共に働き・共に学ぶ ～学生と就労支援事業所の共同販売～ 令和 8 年 2 月 28 日（土）

こころが動くからだ動くみんなで ZUNBA! 令和 8 年 3 月 1 日（日）

【社会福祉法人ハルモニア】

就労支援事業所ハルモニアと協働し、学園祭での販売を通して障害のある方と学生が地域の一人として共に活動する機会を作ることを目的として実施した。

実際の交流や販売経験を通して、学生が働く現場を理解し、共生社会について主体的に考えるきっかけとなった。また、社会福祉法人ハルモニア 生活介護、就労継続 B 型内のダンスサークルメンバーをお招きし、ダンスの披露やお客さんと直接触れ合う機会となった。

・第一ひかり幼稚園 ICT キッズ 令和 8 年 3 月 3 日（火）

IT ゲーム&ロボットシステム学科 2 年生 2 名、1 年生 2 名が、姉妹校である第一ひかり幼稚園の年長組の子どもたちに、パソコンによるプログラミング（Scratch）の初歩体験をサポートし、子ども達が夢中になって取り組むことができた。

・被災地支援寄付活動 担当：静岡県ボランティア協会

能登半島地震の被災地支援のため、昨年度末に学生会より募金をさせていただいた。それに加え、卒業生より寄付された保存水や乾パン、学生から寄付があった保存食等を被災地支援に活用していただこうと静岡県ボランティア協会に届けた。

・エコキャップ活動、フードドライブ

N-Cap 生が中心となって行う活動として 3 年目。毎回多くの学生、教職員から協力を得て、地域貢献活動につながっている。

・メガネリサイクル活動

視能訓練士学科主導で、不要になった眼鏡や老眼鏡を学内で回収し、メガネの春田(富士宮市)さんに寄付した。寄付品は、海外支援に、使用できないものは、再利用や廃品処理を支援することで、埋め立てゴミの削減に貢献する。

ポスターや回収箱を作成し、校内で呼びかけを行った。

・オープンキャンパス

毎月のオープンキャンパスに、N-Cap 生がスタッフとして参加。受付や誘導のほかに、各学科の体験授業の中でプレゼンをしたり、高校生の質問に答えたり、自らを表現する良い機会となった。

<学外実習関係>

- (1) 子ども心理学科3年 教育実習事前研修 令和7年5月13日(火)～5月15日(木)
- (2) 子ども心理学科2年 保育実習Ⅰ(保育所)事前実習  
令和7年5月19日(月)～5月21日(水)
- (3) 視能訓練士学科2年 産学連携特別授業 令和7年5月15日(木)  
(株) オフテクス 「コンタクトケアと疾患の関係性」
- (4) 子ども心理学科2年 保育実習Ⅰ(保育所)事前研修  
令和7年5月19日(月)～5月21日(水)
- (5) 子ども心理学科3年 教育実習事前研修 令和7年5月13日(火)～5月15日(木)
- (6) 子ども心理学科1年 第一ひかり幼稚園 職場体験 令和7年5月28日(水)
- (7) 子ども心理学科3年 教育実習 令和7年6月2日(月)～6月27日(金)
- (8) 視能訓練士学科2年 第一ひかり幼稚園 年中組 眼科測定 令和7年6月30日(月)
- (9) 視能訓練士学科1年 第一ひかり幼稚園 年長組 眼科測定 令和7年7月3日(木)
- (10) 子ども心理学科2年 保育実習Ⅰ(保育所) 令和7年6月9日(月)～6月24日(火)
- (11) 総合福祉学科2年・介護福祉学科2年 第3期実習  
令和7年6月16日(月)～7月19日(土)
- (12) ITゲーム&ロボットシステム学科1年 企業内研修・実習 令和7年6月19日(木)  
於 宇式エンジニアリング株式会社、株式会社宇式通信システム
- (13) ITゲーム&ロボットシステム学科2年 企業内研修 令和7年6月20日(金)  
於 株式会社システムソフィア
- (14) 音響&映像メディアクリエイト学科2年  
静岡市清水文化会館マリナート大ホール 舞台研修 令和7年7月16日(水)
- (15) 総合福祉学科1年・介護福祉学科1年 第1期実習  
令和7年7月22日(火)～8月2日(土)
- (16) 総合福祉学科3年 第5期実習 令和7年8月1日(金)～9月6日(土)
- (17) 子ども心理学科1年 キッズハウスひかり 職場体験  
令和7年9月4日(木)、5日(金)
- (18) 子ども心理学科2年 保育実習Ⅰ(施設)  
令和7年9月26日(金)～10月18日(土)
- (19) 視能訓練士学科3年 臨地実習 令和7年6月16日(月)～10月4日(土)
- (20) 視能訓練士学科2年 臨地実習 令和7年10月20日(月)～10月25日(土)
- (21) 視能訓練士学科1年 臨地実習 令和7年10月27日(月)～11月1日(土)
- (22) 総合福祉学科2年・介護福祉学科2年  
第4期実習 令和7年10月14日(火)～11月8日(土)
- (23) 子ども心理学科2年 保育実習Ⅱ(保育所)事前研修

令和7年11月4日(火)～11月6日(木)

(24) 子ども心理学科1年 保育所職場体験 令和7年11月12日(水)～11月14日(金)

(25) 総合福祉学科1年・介護福祉学科1年 第2期実習

令和7年11月25日(火)～12月7日(土)

(26) 総合福祉学科3年 第6期実習 令和7年12月1日(月)～12月20日(土)

## 8. 資格検定試験の実施・特別授業等

(1) 映像音響処理技術者資格認定試験

(一社) 日本ポストプロダクション協会主催 令和7年6月1日(日)

(2) 情報活用検定(J検), ビジネス能力検定(B検) CBT

(一財) 職業教育・キャリア教育財団主催

令和7年5月29日(木)、6月19日(木)、7月31日(木)、8月28日(木)、  
9月27日(木)、10月30日(木)、11月27日(木)、12月18日(木)、  
令和8年1月29日(木)、2月26日(木)

同 ビジネス能力検定(B検) ペーパー試験 令和7年7月6日(日)

(3) (公社) 全国経理教育協会主催 社会人常識マナー検定 令和7年9月27日(土)

(4) 視能訓練士学科2年 関連企業による特別授業

令和7年5月15日(木) (株) オフテクス、7月3日(木) (株) クーパービジョン・ジャパン、9月26日(金) (株) オグラ

(5) 視能訓練士学科2年 海外とのコラボ リモート授業 令和7年11月22日(土)

英国で視能訓練士として活躍する日本人(レヴァン奈津美氏)によるリモート授業(時差の関係で19:00～20:30に実施)

(6) 子ども心理学科3年 メディックファーストエイド(救急救命講習)

令和7年10月21日(火)

(7) 介護福祉士 国家試験 全員合格(1月25日(日)実施、3月16日(月)合格発表)

(8) 視能訓練士 国家試験 全員合格(令和8年2月19日(木)実施、3月23日(月)合格発表)

## 9. 台湾 海外研修修学旅行

全体テーマ：学生たちが卒業後、社会の一員となったとき、2030年問題、DX化、異常気象といった様々な課題に直面する中、SDGsとの関連を理解することが極めて重要となる。

この研修を通じて、各自が専門的に身につけたスキルを活かし、「問題解決の具体策」「持続可能な世界を築くための方策」「将来的に自分がどのように目標達成に貢献できるか」について、異文化交流(台湾)を通じて考える機会とする。

更に、これまで学んできた専門分野にとどまらず、他分野にも視野を広げ、生成系AIが急速に普及

する現代社会において、一層求められる多様性を理解し、文化や価値観の違いを体得することで、広い視野から「問題解決の手段」を導き出せる力を養う。

今回の研修修学旅行を通じて、学校や学科の枠を超えてノウハウを共有し、仲間との絆を深め、未来への道を切り開くための貴重な機会とする。

期間： 令和7年12月8日（月）～12月11日（木）

研修（1）現地大学を訪問しての見学、授業体験、異文化交流

福祉医療 天主教輔仁大学 社会科学部

電子情報 台北城市科技大学 デジタルマルチメディア学科

研修（2）本学学生の各グループに現地学生1名が参加してのフィールドスタディー

研修（3）伝統的文化研修 十分（天燈上げ体験）、九份訪問、士林夜市探索

成果報告会：令和7年12月18日（木） 本学8階マルチメディア大ホール

SDGsをメインテーマとして、各所で研修・フィールドスタディーを実施。半導体産業等、最先端技術、福祉・医療の現況を、現地学生たちとの交流を通して習得。加えて、台湾の古き良き伝統にも触れることで、視野を大きく広め、国際社会で活躍できる人材となるべく、研修内容を策定。学内でも事前研修を実施した。

現地大学の訪問・見学・交流、グループ毎のフィールドスタディー（研修のテーマ、研修コース設定、研修目的）、研修修学旅行の実施、事後の成果発表会での情報共有を行うことができ、学生たちは掛け替えのない学びと経験をすることができた。

## 10. 高等学校等との連携

### （1）KTC おおぞら高等学院 高専連携授業

同校の生徒を対象に、年度を通じて毎週火曜日の午後に、福祉・子ども分野の職業について、講義及び実習を行ってきた。令和8年3月10日（火）が今年度最後の講義となった。令和8年度も継続する予定。

### （2）「森下ときめき収穫祭」出展 令和7年11月24日（月・祝）

森下学区自治会連合会、久能街道・森下まちみがき研究会主催による標記イベントに、専門学校静岡電子情報カレッジのブースを出展。本学学生6名が展示準備、運営、片付けまでを行った。

静岡市景観まちづくり課からの依頼を受けて学生が制作したPLATEAUを活用した3Dゲームを来場者が体験。完成度が高く、市の担当者や来場者から大変高い評価を頂くことができた。また小型ロボット製作体験コーナーも併設。子供から高齢者まで、幅広く参加いただくことができ、賑わい、本学のアピールにもつなげることができた。

### （3）静岡県職業教育振興会主催 「お仕事体験フェア」 ～学生主導による職業体験

令和7年6月7日（土） 於 静岡市こどもクリエイティブタウン ま・あ・る

・「介護のお仕事」 総合福祉学科学生8名参加

・「ロボットエンジニアのお仕事」 ITゲーム&ロボットシステム学科学生5名参加  
令和7年12月6日(土) 於 マークイズ静岡(静岡市駿河区)

・「視能訓練士のお仕事」 視能訓練士学科学生6名参加

・「ロボットエンジニアのお仕事」 ITゲーム&ロボットシステム学科学生3名参加

両日とも100名以上が本学のブースで職業を体験。学生たちにとっても様々な世代とのコミュニケーションをとる機会となり、貴重な経験とすることができた。

(4) 島田樟誠高等学校 1・2年生対象 学校説明・体験授業

令和7年12月17日(水) 同校からの要請により、本学の説明並びに音響と介護の体験授業を実施。生徒たちは体験授業を通して各分野の仕事のイメージをもつことができた。

## 1 1. 令和7年度 終業式・卒業証書授与式

令和8年3月14日(土) 森下町キャンパス8階マルチメディア大ホールにて挙行。

本学で2年間、3年間の所定の職業実践専門課程を学び終え、大きく成長した卒業生たちは、堂々と胸をはって式典に臨み、100名が社会へ旅立って行った。卒業記念品として、ICT教材開発システム5セットを本学に贈呈した。

また在校生たちは終業式に参列、この1年間を振り返り、やり遂げた成果と次への課題を明確にし、来年度へ向けて気持ちを新たにしたい。

以 上